



製品安全データシート

パシフィックビームモールド ディスパージョン

製造者情報

会社名：株式会社エム・アイ・シー
住所：神奈川県横浜市金沢区東朝比奈 2-2-15 (本社)
神奈川県横浜市金沢区福浦 1-8-33 (福浦支店)
担当部門：環境事業部
TEL：045-353-8931 (福浦支店) FAX 番号：045-353-8932 (福浦支店)
緊急連絡先：担当部門に同じ
作成・改定：平成 22 年 11 月 7 日

製品名

パシフィックビームモールド ディスパージョン (PBM-DS)

物質の特定

防カビ剤

物質の特性

成分及び含有量：複合剤・有効成分 100%

官報公示整理番号 (化審法)：Reg.

CAS：Reg.

EINECS：Reg.

国連分類：国連の定義上危険物に該当しない

応急処置

目に入った場合：直ちに大量の流水で洗眼し、痛みがある時は眼科医の手当てを受ける

皮膚に付着した場合：付着物を布にて拭き取り、石鹼水で十分に洗い流す

飲み込んだ場合：安静にして直ちに医師の診断を受ける

危険有害性の分類

分類の名称 分類基準に該当しない

火災時の処置

使用可能消火剤 水、炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

消火時の保護具	呼吸マスク着用
消火方法	適切な保護具を着用すること

漏出時の処置

作業の際には適切な保護具を着用すること
布などで拭き取り漏洩した液は数倍の流水で希釈すること

取扱い及び保管上の注意

取扱い

- ・眼、皮膚などに触れないように適切な保護具を着用する

保管

- ・容器は直射日光を避け冷暗所にて密閉して保管する
- ・湿度の高い所や設置面に水分の多い所は避けて保管する

暴露防止装置

設備対策

管理濃度 安衛法で記載なし
許可濃度 日本産業衛生学会 記載なし
ACGIH 記載なし

- ・室内作業場での使用の場合は給排気が充分取れる設計とする
- ・ボイラーなどの熱源付近や可燃物の近くに置かない

保護具	呼吸用保護具	保護マスクを着用する
	保護眼鏡	保護眼鏡を着用する
	保護手袋	不可侵性ゴム手袋を着用する

物理及び化学的性質

外観：ペースト状	色：オフホワイト
臭い：無臭	水溶性：水分散性
融点：-	比重：1.07～1.17
粒子径：-	形態：有機物

危険性情報（安定性及び反応性）

引火点	不明
発火点	不明
爆発限界	（下限）不明 （上限）不明

有害性情報

急性経口毒性 : LD50 値 > 2,000 mg/Kg (マウス)

財団法人 日本食品分析センター

急性経口毒性 : LD 50 値 > 2,000 mg/Kg (ラット)
急性皮膚刺激性 : P. I. I 値 = 0 刺激性なし (ウサギ)
皮膚感作性 : 該当しない (モルモット)
復帰突然変異 : 該当しない (AMES 試験)

SafePharm Laboratories (SPL) *英国 (GLP 対応 / OECD 準拠)

環境影響情報

漏洩時及び廃棄などの際は注意を守ること

廃棄上の注意

容器、機器を洗浄した排水などは排水溝へ流さないこと

排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物処理・清掃に関する法律に従って処理を行うか処理業者に委託をすること

輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒・落下・凍結のない様子を崩れの防止を確実に行う

陸上輸送 法令に該当しない

海上輸送 船舶安全法に該当しない

航空輸送 航空法に該当しない

適用法令

消防法 : 該当せず

労働安全衛生法 (特定化学物質) : 該当せず

(有機溶剤) : 該当せず

(有機物質) : 該当せず

(表示物質) : 該当せず

毒物法 : 該当せず

☉ P R T R 法通知対象 916 物質 ☉ : 該当せず

水環境に向けた取組みのための要調査

(1998 年環境庁報道発表要調査項目 300 項目) ☉ : 該当せず

環境庁 「環境ホルモン戦略計画 S P E E D '98」 ☉ : 該当せず

(内分泌攪乱作用を有すると疑われる化学物質全 70 化学物質)

その他

参考文献

化学物質安全規制ガイド (能率協会)

化審法 (第一法規)

国際化学物質安全カード (I C S C)

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。

取り扱う事業所は、ここに記載した危険有害性情報を参考に、自らの責任において、個々の取り扱い実態に応じた適切な処置を講じる必要があることを理解した上でご使用されますようお願いいたします。